

第155回まちづくり町民講座
ニセコ町地域づくりセミナー～地方創生の正体～
開催結果

1. 日 時：平成28年10月26日（水）18：30～21：00

2. 場 所：ニセコ中央倉庫群 旧でんぷん工場

3. 参加者：20名

4. 内 容：

- ①開催挨拶（5分）
- ②セミナー趣旨説明（5分）
- ③基調講演（首都大学東京 都市教養学部 准教授 山下 祐介 氏）（60分）
地方創生の正体ー自治創生が必要だということの本当の意味
- ④参加者によるグループワーク（60分） 5グループ
ニセコ町民が自治創生に果たすべき役割
- ⑤まとめ（山下先生からの講評）（20分）

5. ワークショップ結果要旨：

【A班】

- ・役場職員の目線から、自治体間競争は、役場がだらしのないのもっと頑張れという意味として捉えられる。
- ・自治体間競争の否定は、資本主義の否定ではないか。
- ・現実問題として、国の今の進め方を変えることはできないのではないか。
- ・人口減少は悪いことなのか。社会のニーズがそのようになっているのではないか。
- ・人口減少に対して、移民を受け入れてもいいのではないか。
- ・多様性は認められるべき。
- ・国と地方の序列は存在する。
- ・競争で自治体が淘汰されれば、地方が消滅する。
- ・結果、ニセコ町の自治創生には「相互扶助」の精神が必要。

【B班】

- ・地方創生は産業界の都合による。
- ・国と地方の序列は、地方創生の交付金に関して特に強くなる。地方創生は町をどうするかという話ではなく、いかに交付金を取るかの議論になっていた。（総合戦略の策定過程においても）
- ・役場がタテワリになっているのは、忙しさが原因。
- ・将来の不安（TPP問題、震災など）に向き合って考えることが重要。
- ・地域で子育てできるよう子育て環境をしっかりとすることが安心につながる。

【C班】

- ・ニセコ町は町外から見られている。(良い面、悪い面ともに)
- ・一方、町内からも見られている。(口には出さないが見ている方はいる)
- ・住民がつながっていることが重要であり、つなげる人が必要。つなげる人の育成から必要。行政も動いてほしい。
- ・役場は課題を分かっているが、タテワリが弊害になって動けていない。
- ・地方創生は国が言っているからやるのではないが、まちづくりのきっかけになっている。
- ・住民が感じている課題を解決することが地方創生ではないか。
- ・生態系も多様性がある初めて成り立つ。地方の多様性を認めることが重要。

【D班】

- ・ニセコの食ブランドはすばらしい。
- ・宿泊施設のベッド数は町の人口と同じなのに、地域のメリットを生かせていない。
- ・国や市町村に対して、様々な提言やレポートが出されているが、地域とつなげることができていない。(つなげる人がいない)
- ・ニセコエリアにお金が入るシステムが必要。
- ・ニセコエリアの共通認識が無い。ビジョンや計画が必要。

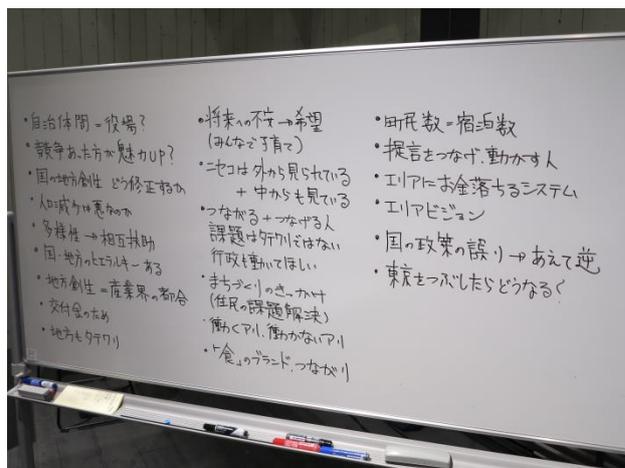
【E班】

- ・東京一極集中の問題を解決するには、東京をつぶしてみてもどうか。そうすると、若者と企業は地方に流れる。
- ・東京をつぶすには、国の政策を進めつつ、地域では国とは違うことも考えて進める必要がある。

6. まとめ(山下先生による講評):

- ・東京では、多様性を認めていくと地方にお金を回してばかりで困るとの意見がある。
- ・現在の自治体間競争は、勝った・負けたの話や人口の奪い合いになっており、本来の意味が伝わっていない。ふるさと納税でも同じことが起こっている。
- ・人口が減少しても、江戸時代の人口規模を考えると、日本だけで暮らしていける。
- ・人口が減少して困るならば移民を受け入れてはどうかとの考え方があるが、自分の地位(職業)や財を子孫ではなくその移民に残すことを考えると、単純に移民を受け入れることは難しい。移民を考えている方は、日本人がしたくない仕事を移民がやるという前提で議論している。
- ・ビジョンや計画が必要との発表があったが、10年後を考えるのでは足りない。子育て等の人生のサイクルを考慮して、30年後を考える必要がある。
- ・これからの地方創生を考える中で、意思決定の中心は住民。住民意見がバラバラで意思決定できなくならないようにするには、首長の覚悟が必要。首長と議会の関係が重要であり、住民が関わっていくことが必要。

- ・地方を守ることは、そこに住む住民を守ること。それは住民自身で取り組んでいってほしい。
- ・ニセコ町には新住民と元々の土着の住民がおり、お互いに対する考えがあろうかと思う。お互いにコミュニケーションを取ることで両者の分断を打破すべき。両者の立場を理解できる核となる方が、まちづくりの担い手となる。人と人をつなげていくことが重要。
- ・少子高齢化は問題というが、高齢化は問題ではない。元気な高齢者が増えることは良いこと。少子化が問題である。
- ・国の人口ビジョンが提起した問題意識（東京一極集中等）自体はまともだった。まともにも政策まで考えられる人同士がつながることが重要。



会場アンケート（文章表現はアンケート用紙記載のとおり）

1	会場の中央倉庫群に初めて入ってみました。すばらしく整備されて感心しました。これからも色々な機会に活用されていてほしいです。
2	現在、住民（町民）が何に困っているかをよく把握してほしい。その課題を解決するにはどうしたらよいかを役場と住民で協働して考えたい。 「つながる」ために何をしたらよいか。誰につなげてもらうのか、ヒントが欲しい。